

図書館資源の適正配分について

1 趣 旨

○前回（第 30 期第 6 回）協議会において、コロナ禍など社会の大きな変化に対応しながら、良好な図書館サービスの提供を継続していくためには、「仙台市図書館振興計画 2022」の中でも、方向性 4「自らの変革を進める図書館となるために」に記載の「図書館資源の適正配分」(a) が重要であり、協議会で検討することが提案された。また、仙台市図書館振興計画 2022」の策定にあたっては、協議会において「図書館サービスの評価・分析」に係る目標について議論があったところである。

○令和 4 年 3 月に策定の「仙台市役所経営プラン 2022-2026」において、以下のことに取り組むとされている。（「仙台市役所経営プラン 2022-2026 進捗管理シート」より）

- ・指定管理者制度の活用による効果を検証し、新たな導入について引き続き検討する。(b)
- ・制度を適切に運用するため、市民図書館の中央館としての在り方を検討する。(c)

以上を踏まえ、今後の図書館の在り方として、「図書館資源を適正に配分・管理し、最大限に活用」（「仙台市図書館振興計画 2022」方向性 4(3)）することを検討するため、以下について整理。

2 資料の内容

○「図書館資源の適正配分」(a) 及び「指定管理者制度の活用による効果の検証」(b) に関する検討資料として、「仙台市図書館振興計画 2022」28 頁で、計画の推進に向けての「目標」及び「管理指標」として掲げる各項目につき、直営館・指定館を含めた各館の状況を整理

資料 2-1 図書館の利用者数、貸出数の推移と利用者満足度

資料 2-2 せんだい電子図書館の利用状況

資料 2-3 アウトリーチ型事業の実績

資料 2-4 乳幼児向けイベントの実績

○「市民図書館の中央館としての在り方」(c) に関する検討資料として、以下のとおり市民図書館（中央館）の業務を整理

資料 2-5 市民図書館（中央館）の業務について

資料 2-6 仙台市図書館の研修

資料 2-7 仙台市図書館の主な会議一覧